

# ふれあい つながり かわら版

## 白鷺小中学校実践研究発表会 ― 歩み続ける教師集団の挑戦 ―

九月三十日(金)に、白鷺小中学校にて「探究し続ける児童生徒の育成」対話でつなげる学びのデザインを通して」をテーマに、第2回実践研究発表会が開催されました。コロナ禍においても研究の歩みを止めない白鷺小中からメッセージをお伝えします。

### 学習者の探究を支える教師をめざして

全体会では、「白鷺小中学校の児童生徒の現状と10年後の社会のイメージをもとに、身に付けさせたい力を検討し、『育成を目指す9つの姿』を設定してカリキュラムマネジメントに取り組んでいる。」と発表がありました。「育成を目指す9つの姿」は、「自らの学びを『探究』的につくり上げる子・「自他を大切にしながら自分の役割を果たし、社会を形成する子」・「見通しをもち、失敗をおそれずに挑戦し、あきらめずがんばり抜く子」の3つの目指す子供像と「知識及び技能」・「思考力、判断力、表現力等」・「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の3本柱の3×3の9つのマトリックス表に整理されていました。

続いて、研究テーマの設定理由について、「授業観と教師観の共有を図ること。姫路市教職員・児童生徒意識調査の結果から児童・生徒が主体的にアウトプットできていないという課題が明らかになったため、『対話』に焦点を当てて研究を進めたこと。『対話』を対象世界(教材)との対話、他者との対話、自己との対話の三種類に分類し、探究のプロセスに位置付けたこと。」と

姫路市教育委員会  
学校指導課  
小中一貫教育・ICT教育推進係  
(079)221-2120



説明がありました。その中でも、対話で「自己とはべつもの・ひととの『差異』から生まれる。対話によって、自己の価値観・理解が更新されるもの。」と定義されたところが、目からうろこで、授業に「差異」を自覚する過程を入れることが、「育成を目指す9つの姿」につながる事が分かりました。

大切なのは、どの授業者も学習者中心の授業づくりを行っていること、小・中の先生方が同じ方向性のもと協力して授業改善に取り組んでいることです。教師は、学習者の探究を支える伴走者となる必要があります。

### 児童生徒も参観者もアウトプット



第4学年3組 音楽科  
班で歌い方の工夫を話し合う



付箋に書いたことをもとに、  
授業者や共同研究者と話し合い

公開授業は、授業者の先生方が丁寧に指導計画を練られ、研究テーマに沿って「対話」を重視した実践が行われていました。音楽科の授業では、班で考えた歌い方の工夫が表現できるように練習を行い、全体の前で発表する授業展開が見られました。授業者の先生が一人一人を認める温かい言葉がけを、練習時も発表の際にもされており、児童が安心して発表していました。

どの授業も話し合いやプレゼンテーション等、児童生徒がアウトプットする活動が中心でした。午後から行われた分科会においても、児童生徒の姿をもとにKJ法を用いた積極的な討議が白鷺小中学校の先生方と参観者の先生方によって行われました。各校においても、同じ手法での校内研修をお勧めします。授業中の

児童生徒の姿をもとに話し合うことで、小・中問わず授業改善について討議できるはずですよ。

講演「探究的な学びの質を高める『協働的な学び』」

國學院大學教授 田村学先生

分科会終了後には、田村教授の講演がありました。公開授業の様子を取り上げ、演題に沿いながら、指導助言がありました。「研究の積み上げが子供たちの姿となって表れている。子供たちとともに教師も力をつけている。」という力強いお言葉を頂戴しました。

また、「個別最適な学びと協働的な学び」について、「一人一台端末だけでは児童生徒の健全な発達は見込めない。他者との多様な学び合いができる学校は、必要です。」と述べられ、さらに「アウトプット」について、「インプットされた知識がアウトプットされることではがれにくくなる。つながり合った知識は、長持ちするし、使い勝手が良くなる。」と説明されました。やはりアウトプットは重要です。自分の考えを表現し、他者と伝え合う時間を確保した授業を実践していきましょう。紙面の都合上、全てを伝えることはできませんが、研究冊子を各校の担当者が持ち帰っています。先生方の授業改善や校内研修推進の際の参考にしていただくことで、各校や姫路市の全体の授業改善の一助となるのではないのでしょうか。

### ブランドカリキュラム作成紹介

#### 〜城山中学校ブロックの取組〜

八月一日(月)に城山中学校にて、ブランドカリキュラムの作成委員会が開催されました。当日までに、管理職と小中一貫教育推進担当者が話し合い、ブロックとして身に付けたい力を「人間関係力」と「問題解決力」の2点とし、それに合わせて全教職員で単元を配列していきました。

令和五年二月二十四日(金)が、ブランドカリキュラムの提出期限となっています。よろしくお願ひします。

